

# 令和2年度コミュニティ講習会

## 地域活動事例の紹介

---

・名東区北一社学区防災室 高鳥様の発表

内容 低い防災意識と皆無の活動に危機感を持ち、防災室を立ち上げ、5年計画(5年で達成できると考え)に基づき活動を開始した。

- ① 耐震化おすすめ作戦
- ② 総合見守り支援事業(例: マップ作成作業)
- ③ 仮説トイレ設営訓練(1カ月毎に各自治会町内会で)
- ④ スプレー式消火器全戸配布中(スプレー消火器@800+吸盤付き置台ホームセンター等で)
- ⑤ 小学校、中学校、高校等にある給水タンクからの取水口設置(6万~12万円)
- ⑥ 防災連絡用にデジタル簡易無線機(5W)(登録申請で免許不要)70台保有。青パト、学童保護、交通整理等日常的にも使用。街路灯LED化での余剰経費で計画購入も。

防災体制に関するユニークなそれでいて現実的な考え。

- ・学区で防災室を立ち上げた事と防災意識、防災体制作りへの計画実践、5年のターム。
- ・好評のスプレー式消火器というアイテムで意識喚起。
- ・災害時には携帯電話も繋がりにくくなるので簡易無線は必須。個人保有も。無線機講習会実施。

○避難所には来ないで下さい!を原則に自宅避難の勧め。支援、応援のために避難所に集合する。

○学区より町内会、自治会を絶対的に優先。学区より要請あったら代理人派遣で対応するスタンス。

総合司会のコミュニティサポートの先生から

当事者化のコツを伝授して頂く

- ① 正しさ < お得さ
  - ・正論を説いても馬耳東風、お得情報には聞き耳を立てる。
- ② 投網 < 銚(もり)
  - ・全体への呼掛けでは集まらなくても、個別訪問での要請には効率よく集まる。
- ③ P(プラン)< D(ドゥー)
  - ・次世代の若者(中高生)に防災訓練の中でのイベントを考案してもらい、小学生以下父母も楽しく参加してくれた。また来たい、との声も。何でもやってみようじゃないかい。

前山学区(町内会・自治会)でも防災意識を盛り上げたいものです。

名古屋市からのお助けマン「コミュニティサポーター」に支援してもらおうことも出来るので!